

# 会 議 録

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 会 議 名<br>(審議会等名) | 令和元年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会   |   |   |
| 事 務 局<br>(担 当 課) | 小金井市ごみ対策課   |   |   |
| 開 催 日 時          | 令和元年6月27日(木)  |   |   |
| 開 催 場 所          | 小金井市役所第2庁舎801会議室  |   |   |
| 出 席 者            | 委 員   | <出席者：13名><br>岡山会長・渡辺副会長、大江委員・石田委員・石原委員・土屋委員・山田委員・黒須委員・齋藤委員・波多野委員・多田委員・林委員・岸野委員<br><br><欠席者：2名><br>堀越委員・星野委員 |   |
|                  | 事 務 局   | 小野ごみ対策課長・花野ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・大久保・高田・信岡・高花  |   |
| 傍聴者の可否           | 可   | 傍 聴 者 数   | 0 |
| 会 議 次 第          | 1 開 会<br>会議録の確認について<br><br>2 報 告<br>(1) 燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について<br>(2) 可燃ごみ処理の支援状況について<br><br>3 議 題<br>(1) 事業系可燃ごみ処理手数料の見直し等について(諮問)<br>(2) 平成30年度施策の実績報告について<br>(3) 小金井市一般廃棄物処理基本計画の策定について<br><br>4 その他 |   |   |
| 会 議 結 果          | 別紙審議経過のとおり  |   |   |
| 提 出 資 料          | 別添のとおり  |   |   |
| そ の 他            |   |   |   |

(審議過程) 主な発言等

|              |  |
|--------------|--|
| 岡山会長         | <p>これより令和元年度第2回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>本日の欠席委員について、星野委員・堀越委員より、欠席の連絡を事前に頂いている。</p> <p>本日の審議会では、「事業系可燃ごみ処理手数料の見直し等について」の諮問を受けることになっている。後ほど事務局から説明があるが、まず始めに諮問を受けたいと思う。</p> |
| 小野ごみ対策課長     | <p>本来ならば市長から会長に直接お渡ししなければならないが、公務の関係で私が代理させていただく。</p> <p>(諮問書受け渡し)</p>   |
| 岡山会長         | <p>それでは次に、本日の進行及び配布資料についての確認を求める。</p>  |
| 大久保減量推進係長    | <p>(配布資料確認)</p>  |
| 岡山会長         | <p>続いて、前回、令和元年度第1回審議会の会議録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。</p>   |
| 林委員          | <p>3ページ目の一番上。「そのように」の「に」が抜けている。</p> <p>6ページ目の大久保係長の発言。複数の「町場」は専門用語なのか。わかりにくくないか。</p>   |
| 小野ごみ対策課長     | <p>回収しに行くところを町場という。もう少しわかりやすい言い回しに書き換えたい。</p>  |
| 岡山会長         | <p>他になれば、修正後、事務局にて公開手続きに入る。</p> <p>では次に、本日事務局より提出された資料についての報告と説明を求める。</p>  |
| 大久保減量推進係長    | <p>(「燃やすごみの処理量の昨年度との月別比較について」説明)</p>   |
| 花野ごみ処理施設担当課長 | <p>(「可燃ごみ処理の支援状況について」説明)</p>   |

(審議過程) 主な発言等

|              |   |
|--------------|---|
| 岡山会長         | 事務局からの提出資料の説明と報告について、意見・質問はあるか。                                   |
| 岸野委員         | 浅川清流環境組合の施設が稼動することで、広域支援は終了すると考えて良いか。                             |
| 花野ごみ処理施設担当課長 | 広域支援は終了する。浅川清流環境組合の新施設は令和2年度の本格稼働を目指しているところである。                   |
| 岡山会長         | 次に、「事業系可燃ごみ処理手数料の見直し等について（諮問）」について、事務局から説明を求める。                   |
| 小野ごみ対策課長     | （「事業系可燃ごみ処理手数料の見直し等について」説明）                                       |
| 岡山会長         | 事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。   |
| 林委員          | 生活環境影響調査結果の縦覧等に関する規定の整備についても諮問の範囲なのか。                             |
| 小野ごみ対策課長     | 諮問の範囲ではない。諮問事項は、事業系手数料の改正と、家庭系の持ち込み削除についてである。                     |
| 林委員          | 3市が同じ金額になるのか。   |
| 小野ごみ対策課長     | 日野市は料金の改定を予定していない。国分寺市と小金井市が試算すると42円になった。                         |
| 林委員          | 3市が高めに設定して焼却対象量を抑制できないのか。   |
| 小野ごみ対策課長     | 手数料の徴収については原価相当が妥当との考え方に基づいて積算しており、高めに設定する根拠はない。原価相当分が望ましいと考えている。 |
| 石原委員         | 焼却処分費と焼却残渣処分費について教えていただきたい。両方足すと年間24.5億円かかっていると考えてよいか。            |

(審議過程) 主な発言等

|           |  |
|-----------|--|
| 大久保減量推進係長 | 焼却残渣処分費については、東京たま広域資源循環組合において焼却灰をエコセメントにしている。それにかかる費用と考えていただきたい。処理費用は3市の合計であり、年間の焼却処理量も3市の合計である。焼却処理費は浅川清流環境組合の財政計画で推計されている金額である。                  |
| 渡辺副会長     | 焼却処理費は20年間を見越して計算しているが、焼却残渣処分費は直近実績で求めている。将来的に処理経費が高くなることもあり得る。  |
| 大久保減量推進係長 | 前回、手数料を見直した平成20年度の考え方に準じて積算している。焼却残渣処分費については将来の数値見込みが立っていない。新可燃ごみ処理施設で焼却残渣の発生量見込みが不明ということもあり、直近実績を採用している。今後、処理費の金額については、基本計画の見直しに合わせて、変更しようと考えている。 |
| 小野ごみ対策課長  | 東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設も老朽化により7～8年で稼働停止の予定であり、現在、第6次減容計画の策定を検討している。その計画に基づいて将来の焼却残渣処分費が明らかになってくればその時期に応じて見直しを検討していきたい。                              |
| 林委員       | 焼却処理費は20年間で120万トン、3市で年間6万トン。現状を考えると6万トンもいかないのではないか。  |
| 大久保減量推進係長 | 可燃ごみだけでなく、粗大残渣、廃プラ残渣含めると、平成29年度実績で6万トンを超える。令和2年度の推計値も6万トンを超える見込みである。増えるわけではなく、今まであったものが積みあがるということをご理解いただきたい。                                       |
| 岡山会長      | ごみ量が減っていけば単価が増える。現時点ではこのような状況である。  |
| 渡辺副会長     | 家庭系の持込を想定していないということだが、引越しや遺品整理などでそういった状況がありうると思うが、それら無し  |

(審議過程) 主な発言等

|              |  |
|--------------|--|
| 大久保減量推進係長    | 視してよいものかどうか。<br><br>可燃については自前の施設を持っていないので、一般廃棄物収集運搬業許可者を紹介しているのが現状である。中間処理施設も同様であり、新たな中間処理施設についても、場内の安全性等を含めて、市民の持ち込みは想定していない。   |
| 岡山会長         | 事実上、搬入ごみは無かったので削除するという理解か。   |
| 渡辺副会長        | 自前の施設ができれば、理論上持込は可能だと思うが。  |
| 林委員          | 他市も同様の対応を考えているのか。  |
| 小野ごみ対策課長     | 国分寺市は、直接施設への搬入はしないが、市内で積み替えることは想定しているとのことである。  |
| 林委員          | 日野市はどうか。   |
| 小野ごみ対策課長     | 日野市も国分寺市と同様の対応を検討しているとのことである。  |
| 林委員          | 小金井市はどうか。  |
| 小野ごみ対策課長     | 場所が無いため、整備の予定はない。可燃性ごみの中には、燃やすごみのほか、プラスチックごみの残渣も含む。粗大ごみのうち布団は浅川清流環境組合に搬入する予定である。構成市によって搬入物は若干異なる。国分寺市は、現在直接搬入をしているので、混乱を避けるため積み替えて搬入することを検討している。小金井市では、現在直接搬入はしていないので、このまま継続したいと考えている。 |
| 多田委員         | 多摩地域ではあと10数年後には人口が減るはずだが、ごみ処理量は、人口は加味しなくていいのか。   |
| 花野ごみ処理施設担当課長 | お示ししているごみ処理量は、新可燃ごみ処理施設の施設規模を検討した際に算定したものを基にしているものである。   |

(審議過程) 主な発言等

|           |   |
|-----------|---|
| 多田委員      | そこでも、人口は加味していないのか   |
| 大久保減量推進係長 | 現時点で想定しうるものとして示している。人口に応じてごみ量に増減があることは確かだが、その点については5～10年間のスパンの中で見直しは必要かと思う。そのタイミングで改めて精査をさせていただきたい。   |
| 岡山会長      | それでは「平成30年度施策の実績報告」について審議に入る。事務局より提出された資料についての説明を求める。   |
| 大久保減量推進係長 | (「平成30年度施策の実績報告」説明)   |
| 岡山会長      | 事務局からポイントを説明いただけないか。  |
| 大久保減量推進係長 | エコバッグについて、どのような人が購入しているのかというコメントをいただいている。エコバッグは平成28年度から作成しており、現在5種類ある。トートバッグやレジかごタイプ等があり、金額は600～1,400円となっている。平成31年度6月までの実績で集計すると、総計277個(270,400円)販売されている。販売状況は市民にも購入していただいているほか、職員にも広く使ってもらいたいため管理職会議等で販促を行う等、職員にも積極的に紹介している。その他、ごみリサイクル特集号でもマイバックの販売ということで記事を掲載し、ごみ分別アプリにも掲載している。記事を出すことによって窓口に問合せがある。 |
| 高花主任      | 主婦は購入しないのではないかというご指摘をいただいているが、トートバッグの市民購入は少ないものの、マイバッグやレジかごタイプは職員の倍以上の市民に購入していただいている。   |
| 石田委員      | 大きく傾向が変わったところをピックアップしてほしい。色々なコメントがたくさん記載されていると判断できないので、活かすべきコメントがあれば取り上げていただければありがたい。   |

(審議過程) 主な発言等

|           |  |
|-----------|--|
| 大久保減量推進係長 | 貴重な意見なので、分析は行っていく必要があると考えている。ごみ処理基本計画の見直しの中でも施策評価を行う予定であり、今回いただいた意見を参考にさせていただく。  |
| 高花主任      | 広報啓発に関する意見や、くつ・かばんの拠点回収に関する意見をいただいております、施策に反映できればと考えている。紙袋の再利用は広まっていないとの意見があるが、職員も逐次工夫しながら、拾える意見は拾って施策に有効的に反映していきたい。   |
| 岡山会長      | この場で読み切ることは難しいので、各自で見比べていただいて、次回の宿題としたい。   |
| 林委員       | 市の自己評価でC評価が続いているものは、なぜ委員が指摘しなければならないのか。そのあたりは市で評価すべきである。冒頭で、事業担当個人の評価とあったが、それには違和感がある。個々の担当の評価を市全体の評価として報告するのはいかなるものか。苦勞しているのは分かるが、どのような課題が残存しているか皆さんと共有して、実際にどうするかは別の場で議論するといった進め方をしてほしい。 |
| 石田委員      | 3年連続でC評価のものは、できない理由を究明する必要がある。   |
| 林委員       | 進んだところは、もっとアピールしてもいいと思う。   |
| 石田委員      | まとめ作業だけで、事務局には負担になっていると思う。それで効果が得られないのであれば、簡素にしていけないか。   |
| 大久保減量推進係長 | 自己評価については、前審議会委員の皆様にお考えいただいたものである。時間をかけて評価していただいているものなので、より良いものにしていければと思う。評価の仕方についても検討をしていきたい。   |
| 岡山会長      | 今年度はごみ処理基本計画を策定する。これはその中の単年  |

(審議過程) 主な発言等

|           |   |
|-----------|---|
| 大久保減量推進係長 | <p>度計画の評価になるので、次の計画のときにはこの評価を含めてシンプル化していく作業をすることになると思う。</p> <p>次に「小金井市一般廃棄物処理基本計画の策定」について説明をお願いします。</p> <p>それでは「小金井市一般廃棄物処理基本計画の策定」について、前回の審議会以降の進捗についてご説明させていただく。</p> <p>基本計画の策定に当たり、ごみの排出状況や資源化可能物の混入状況等を確認するため、ごみ組成分析調査を実施した。</p> <p>燃やすごみの調査については、6月6日・7日にクリーンプラザふじみで実施したものの、単身集合住宅の検体の収集量が予定よりもかなり少ない状況であったことから、7月11日に改めて調査を実施する予定で調整を行っている。</p> <p>燃やさないごみの調査については、6月18日・20日に中間処理場で実施したところである。委員の皆様にもお越しいただき、感謝申し上げます。調査結果については、取りまとめ次第、お示しさせていただく予定である。</p> <p>本日は、7月に予定しているアンケート調査について、調査票(案)を取りまとめたので、内容についてご意見をいただきたいと考えている。参考資料として配布した「ごみ減量・リサイクルに関する市民アンケートのお願い」及び「ごみ減量・リサイクルに関する事業所意識調査のお願い」をご覧いただきたい。</p> <p>内容については、基本計画の策定支援事業者であるパシフィック・コンサルタンツから説明をさせていただく。</p> |
| コンサルタント   | (アンケート調査票の内容について説明)   |
| 岡山会長      | 事業者のQ9について、罰則についての記述は最後にした方が良いのでは。  |
| コンサルタント   | そのように変更する。  |
| 大江委員      | 継続性も確保したいということであるが、無作為抽出の方法はどのような方法か。完全な無作為ではなく、多段階・多層で抽出を行うのか。   |



(審議過程) 主な発言等

|           |  |
|-----------|--|
| 高花主任      | 前回同様に、市民向けアンケートは町別人口（年齢・性別）等を踏まえ、偏りが無いように3,000件抽出し、事業所向けも同様に抽出を行った。  |
| 大江委員      | ごみ処理基本計画の諮問の全体像は出ていないということで良いか。  |
| 大久保減量推進係長 | 前期については調査・ワークショップ・推計など、計画のもとになるものを準備し、10月ごろに諮問させていただき、審議していただくという予定である。  |
| 大江委員      | 実施前に審議を行い、結果を基本計画に反映するという事は難しく、結果の後に審議となってしまうが、やはり仕方が無いということか。   |
| 大久保減量推進係長 | 前は単年度の契約ということで、実際に動き出したのがもう少し遅かった。今回は1月から契約のための準備を開始して3月に契約し、4月からは業務を進められるようにした。前は実施した結果のみ示しているが、事前に「こういったことを実施する」というようなことは示していなかったもので、今回はその辺りについては丁寧にできていると考えている。 |
| 多田委員      | アンケートの返送先は市役所か。  |
| コンサルタント   | 返送先は市役所、WEBのアクセス先はWEB上である。   |
| 多田委員      | 郵送やFAXでの返送先はコンサルタント宛にしてほうがよいのでは。   |
| 大久保減量推進係長 | 市が実施するアンケートなので、市を返送先とした。   |
| 石原委員      | ここに盛り込むかどうかは別として、集合住宅の管理会社への啓蒙も必要ではないか。  |
| 大久保減量推進係長 | 今回の枠組みのなかでは難しいと思う。ごみの分別徹底の観点から重要なことだと認識しているので、事務局で検討してい  |

(審議過程) 主な発言等

|          |   |
|----------|---|
| 多田委員     | きたい。<br><br>公営や分譲を除いた賃貸の管理会社で、小金井市に所在を持っていないところの割合はどの程度か。   |
| 小野ごみ対策課長 | 割合まで調査はできていないが、多いと思う。管理側への働きかけ、住んでいる方への働きかけは課題でもあるので、ごみ処理基本計画のなかで何らかの対策を取らなければいけないと考えている。   |
| 多田委員     | 過半数は市外だと思う。そこへのアプローチは大変だと思う。  |
| 小野ごみ対策課長 | 市の業者には住居申し込み時に説明していただいている。市外の業者については課題である。  |
| 林委員      | 市民向けアンケートに違和感があった。Q1の回答の8番目に関心の有無というのが出てくる。初めの質問は関心があるかないかではないかと思う。97%は関心があるからという説明があったが、その前提で進めるのはどうかと思う。関心を持つためにどうするかなどもあった方が良かった。<br>Q8に、消費期限・賞味期限が出てくるが、用語の解説はあった方が良かった。<br>Q9について、燃やさないごみの問いであるのに、プラスチックの問いが出てくることには違和感がある。「汚れが付いた」がどこに係っているか分かりにくく、初めの設問の設定が分かりにくいように思う。<br>また、事業所アンケートについて、事業者用の指定袋に名前を書いていない袋が散見されたということもあり、事業者用の排出を抑制してもらうための意図を盛り込んでどうか。事業者名等を記載しているかなどの設問があってもよい。<br>小売業者に対してリサイクルできるプラスチックの回収はどこまでやっているか、回収品目を拡大する予定はあるか等も調査できると良かった。 |
| 渡辺副会長    | 管理番号について、回答者は個人の特定を嫌がるので、管理   |

(審議過程) 主な発言等

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>番号は個人を特定するものではないことを記載した方が良い。</p> <p>家庭系のQ9については、アンケート調査として文言が良くない。まず「材質が100%プラスチック製品」は分かりにくいため「プラスチックだけでできている製品」のほうがわかりやすい表現ではないかと思うし、①では汚れが付いているかどうかは指定されていないが、②で「汚れが付いた」とあるので、①では「そのうち汚れの付いていないものは」と指定する必要がある。②は排出先を指定しているので問題ないが、①、③は「それ以外の日に出す」という選択肢が無い。そもそも、排出していないわけではなく、必ずどこかの収集日で排出しているはずであるから「出していない」という選択肢だけでは回答できない。「収集日が分からないのでこの収集日に出している」「分別方法が分からないのでこのごみと一緒に出している」等が必要である。また、電池類が入っているものに関しては、取り出し方が難しい・分からないなどの項目があっても良い。</p> <p>事業系については、Q6の6「産業廃棄物との区別が難しい」とあるが、産業廃棄物との区別が難しいとなぜごみ減量・リサイクルが進められないのかがわからない。選択肢の再考が必要である。「ごみの分別に手間がかかる」は「ごみ分別や減量に手間がかかる」とした方が良い。</p> |
| 石田委員  | <p>市民アンケートのQ9の4「スペースがないので出していない」は意味が通じない。選択肢がいくつか用意されているとよい。</p>  |
| 石原委員  | <p>小型家電（電子体温計）は電池の取り出し方が分からないので、補足があった方が良い。</p>   |
| 波多野委員 | <p>Q9の4については、「家庭内に保管するスペースが無いので分別しないで捨てている」であれば分かる。</p>   |
| 林委員   | <p>Q8③については、「行っていることはありますか？」よりは「心掛けていることはありますか？」だと思う。</p>   |
| 波多野委員 | <p>Q8食品ロス補足の説明があるが、選択肢の方があいまいになっている。捨てている人は、「まだ食べられるものでも賞味</p>  |

(審議過程) 主な発言等

|           |  |
|-----------|--|
| 岡山会長      | 期限が切れたので食べられない」と思って捨てている。「食べることができるのに廃棄する」「賞味期限が切れた」「食べきれなかった」など選択肢を再考したほうがよい。   |
| 岡山会長      | 家庭から出る食品ロスを買ったときには食べられたのに自分のところで悪くなったものを指す。「食べられるのに食べられずに廃棄」という表現で再考する。選択肢からは、「買った」という表現を削除してはどうか。   |
| 石田委員      | 返送先のFAXは専用のものか、課のFAXを併用するのか。   |
| 大久保減量推進係長 | 併用する予定である。FAXでの回答は少ないと想定している。  |
| 大江委員      | Q1について、ごみ非常事態宣言を知っているか知っていないかは、このタイミングだからこそ聞くべきである。また、回収率に関しては、フィードバック・督促しないと集まりが悪いのではないかと思う。  |
| 大久保減量推進係長 | フィードバックに関しては、期限前にお礼状のような形で催促する。  |
| 岡山会長      | お気づきの点があれば市にメール等いただければと思う。   |
| 岡山会長      | 最後に、ここで議題にしたいものがある。<br>夏休み生ごみ投入リサイクルについて、どうやったら生ごみを持って行ってくれるか。小金井市の学校給食からでる生ごみを群馬県まで持って行って、堆肥にして、その堆肥をまた小金井市に戻して農家に使ってもらっている。その野菜が給食に出されているのではないか。 |
| 土屋委員      | 量は把握していないが給食に納めている。全体量でいうと割合はそこまでではないと思う。  |
| 岡山会長      | 実績があることが分かってうれしい。持ってきた生ごみがまわりまわって学校給食で戻ってくるが大々的に広報して   |

(審議過程) 主な発言等

|           |   |
|-----------|---|
| 山田委員      | <p>見える化できればと思う。審議会の何回かを使って、実行委員会のようなもので議論できればと思う。</p> <p>カギになるのは現場である学校の先生や栄養士である。やらない理由をつけられてしまうと進められないので、カギになる人たちを呼び込めればよいのだが。</p>  |
| 小野ごみ対策課長  | <p>教育委員会でも食育の観点から実施している。小金井市内の農家は都市農家であり、学校給食が求める安定した供給量を確保できないため難しかった、昨今の事情を鑑み、地域の中で何ができるか、資源循環という取り組みについて教育委員会にも興味を持ってもらっている。よい機会であるため、教育委員会と調整させていただきたいと思う。ただし、時間がかかることについては理解いただきたい。</p> <p>大切なのは資源循環ではなく、残さず食べ切るということ。毎日毎日の出席状況によって残渣の発生量は変わってくる。資源循環だけを表にすることは教育委員会としては難しい。</p>   |
| 岡山会長      | <p>最後に、その他として事務局から何か報告があればお願いしたい。</p>   |
| 大久保減量推進係長 | <p>まず、皆さまへすでにお配りしている「平成31年度一般廃棄物処理計画」について、訂正が必要な部分があったため、本日机上に差替え用のページを配布させていただいた。内容としては、浅川清流環境組合新可燃ごみ処理施設の本格稼働に伴い、布団、容器包装リサイクル協会に引き渡されない廃プラスチック類に関する処理方法及び処理フローの訂正が必要となったものである。詳細につきましては、「平成31年度一般廃棄物処理計画（差替え用）」をご覧ください。</p> <p>次に、理事者や市議会議員、ごみゼロ化推進員の方々にもご参加いただき、ごみ減量啓発駅頭キャンペーンを、令和元年7月8日（月）に武蔵小金井駅、7月30日（火）に東小金井駅で行う予定である。時間は、それぞれ18時から概ね1時間程度を予定している。ご都合のつく方は、ぜひご参加いただきたい。なお、雨天の場合は、中止となる。</p> <p>次に、アンケートについて、ご意見は7月5日を締め切りと</p> |

(審議過程) 主な発言等

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>させていただく。</p> <p>最後に、次回の審議会の日程は、7月22日(月)18時から中間処理場で開催を予定している。後日、改めてご連絡させていただきます。</p>            |
| 高花主任      | <p>次回の審議会でワークショップについて説明を予定しているが、一般向けと子ども向けのワークショップを、7月25日、28日に開催する。ご都合つく方は是非参加をお願いしたい。</p>        |
| 大久保減量推進係長 | <p>ワークショップの内容は現在検討中である。次回審議会とワークショップ開催までの期間が短いため、ワークショップの内容についてはご報告という形を取らせていただくことをご承知おき願いたい。</p> |
| 岡山会長      | <p>本日は、以上をもって審議会を終了する。</p>  |